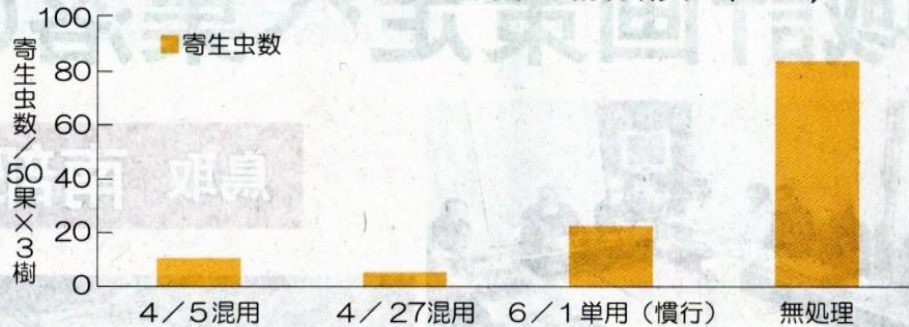


### アプロード水和剤と97%マシン油乳剤の混用散布によるアカマルカイガラムシに対する防除効果 (2022)



- ※1 散布日・薬剤  
2022年4月5日、4月27日アプロード水和剤1000倍+97%マシン油乳剤100倍  
2022年6月1日アプロード水和剤1000倍
- ※2 調査日 2022年6月29日
- ※3 供試品種 岩崎早生 15、16年生

## アプロードとマシン油の4月混用散布



県内のカンキツ栽培では、アカマルカイガラムシの寄生による果実被害が大きな問題となっている。写真。

現場で使える！研究成果

### アカマルカイガラムシに効果

アカマルカイガラムシに対する防除薬剤としてアプロード水和剤が使用されており、本剤は幼虫発生盛期の散布で効果が高い。しかし、現状ではアカマルカイガラムシの発生予測技術が確立されておらず、散布適期の把握が困難だ。そのため、ヤノネカイガラムシの予測を参考に同時防除を行っているが、十分な効果が得られていない。一方、近年アプロード水和剤と97%マシン油乳

剤の4月混用散布で、カイガラムシ類に対して高い防除効果を示す知見が得られており、これらの知見を基に4月に両剤を混用散布した場合のアカマルカイガラムシに対する防除効果を検討した。その結果、4月上旬または4月下旬の混用散布は、第1世代1齢幼虫発生盛期のアプロード水和剤単用散布と同等の防除効果を示した。本防除法により第1世代の散布適期に留意せず防除作業を行うことができる。とともに、散布時期が4月であることから、5月下旬から6月の防除作業が集中する時期の散布労力を分散できる。

(長崎県農林技術開発センター 果樹・茶研究部門 柴田真信)